

発刊にあたって

教育改革の大きな流れの中で、新学習指導要領に基づいた教育課程が始まりました。各学校には「生きる力」の育成を目指して「特色ある教育」を展開していくことが求められています。

県教育委員会では、精神的に自立し、思いやりの心をもって、何かができる「未来をひらく『意味ある人』づくり」を基本目標とした「『人づくり』2010プラン」を策定し、児童生徒の「豊かな感性、確かな知性、健やかな心身」の育成に取り組んでいます。

このような状況の中、本年度11名の長期研修員はそれぞれ、教職研修部、情報教育部及び教育相談部に所属し、広い視野に立って教育課題について考察し、本センターのもつ様々な機能を生かしながら、学校及び地域の教育を推進するための実践力を養うことを目的として研修を積んできました。自主研修を主体とした研修体制の中で、各種講演・講話の聴講、演習等への参加、県内外の先進機関への視察研修等を通して、教員としての資質向上並びに視野の拡大を図ってきました。

また、学校及び地域のもつ教育課題について明らかにし、その解決に向けて所属部ごとに研究を進めてきました。ここに研究内容を報告書としてまとめるとともに、研究報告会における報告内容は、教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）を通じて、全国の方々へ発信します。報告書とあわせて多くの方々に視聴していただき、教育実践に役立てていただければ幸いです。

長期研修員においては、学校に戻ってからは、一年間の研修成果を糧に、引き続き新たな課題に挑戦し続けることを願っています。

最後になりましたが、各研修員の研究推進に当たり、御指導・御協力いただいた関係諸機関並びに各学校に、心よりお礼申し上げます。

平成16年3月

静岡県総合教育センター 所長 大川輝之